

令和5年度第3回船橋市再犯防止推進計画策定委員会会議録

由良補佐	<p>開会</p> <p>ただいまから、令和5年度第3回船橋市再犯防止推進計画策定委員会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。事務局を務めております福祉政策課課長補佐の由良でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日、船橋東警察署の金子委員、船橋市更生保護女性会の磯部委員、船橋市小学校長会の伊藤委員、船橋市自治会連合協議会の内海委員につきましては、所用によりご欠席の旨ご連絡を事前にいただいておりますことを報告いたします。</p> <p>議事に先立ちまして、事前に送付させていただきました資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・第3回船橋市再犯防止推進計画策定委員会次第・船橋市再犯防止推進計画（案）（資料1）・船橋市再犯防止推進計画（案） 概要版（資料2）・パブリック・コメントの実施結果について（資料3）・水色のフラットファイル <p>また、本日机の上には、席次表、資料4として市議会健康福祉委員会における質問・意見等という資料を追加で配付させていただきます。</p> <p>資料の不足のある方、資料をお持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>続けて、お手元のマイクの使用方法についてご説明いたします。スイッチを押していただきますと赤いランプがつき、マイクがオンになります。発言が終わりましたら、再度スイッチを押してマイクをオフにさせていただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、会議の公開につきましてお伝えいたします。本会議につきましては、船橋市情報公開条例第26条の規定により公開となります。</p> <p>また、会議後は会議録を作成し公開いたしますが、その際に</p>
------	--

	<p>は委員の皆様のお名前につきましても公開となりますので、ご了承のほどお願いいたします。</p> <p>なお、会議の開催につきまして、市のホームページにて開催日程等を事前に周知しておりますことをご報告いたします。</p> <p>続きまして、傍聴についてです。本日の会議を公開することとし、傍聴者の定数を5名として市ホームページに掲載したことをご報告いたします。</p> <p>なお、本日の傍聴者はございません。</p> <p>それでは、これより先の議事の進行につきましては、東本委員長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
東本委員長	<p>① パブリック・コメントの実施結果について</p> <p>よろしくお願いいたします。今日はありがとうございます。最後の会になります。</p> <p>それでは、議題①「パブリック・コメントの実施結果について」です。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
齋藤課長	<p>はい、福祉政策課課長齋藤でございます。</p> <p>それでは、本日の議題①「パブリック・コメントの実施結果について」ご報告させていただきます。</p> <p>お手元の資料3をご覧ください。「パブリック・コメントの実施結果について」のペーパーでございます。</p> <p>「1 意見の募集期間」にございますが、令和5年12月15日金曜日から令和6年1月15日月曜日までと、おおよそ1ヶ月の期間で行いました。</p> <p>素案の閲覧につきましては、市役所3階の福祉政策課、11階の行政資料室、船橋駅前総合センターフェイスペイン5階、市内にございます各出張所、公民館、図書館、市ホームページで閲覧に供しました。</p> <p>第2回の会議で、委員の皆様から自分の団体等に周知してよろしいかというお問い合わせもございましたので、お願いします、という形にさせていただきました。関係団体等への周知、ご協力賜りましてありがとうございました。</p> <p>また、パブリック・コメントにあたっては、3に記載しているとおり、広報ふなばしに掲載した他、X（旧Twitter）にて2度周知を行いました。</p>

結果でございますが、4にありますとおり意見の提出はなかったものでございます。

なお、「5 その他」に記載のとおり、パブリック・コメントの実施に先立ち令和5年12月8日に計画素案について、市議会健康福祉委員会への報告を行いました。

この委員会における質問や意見、市の回答などについて資料4としてまとめさせていただきましたので、資料4をご覧ください。

資料4、1から11まで質問、ご意見等がございました。

この中で、いくつかピックアップしてご紹介させていただきます。

1番、千葉県居住支援法人協議会ともしっかりと連携して進めてもらいたい。というようなご意見がありました。

市の回答といたしましては、来年度のネットワーク会議を構築する上で、委員として居住支援法人の方に出席をしていただきたいと考えております。しっかりと連携していきたいというような回答をさせさせていただきました。

なお、居住支援法人におきましては、現在、国の方で、国土交通省、厚生労働省、法務省、この三省が合同で取組をいたしております。こちらで住宅確保要配慮者の状況や課題、今後の居住支援のあり方の方向性について議論しております。

その中に、全国居住支援法人協議会も入りまして、いろいろな検討をしているところであり、我々が再犯防止推進計画を策定するにあたりまして、住まいの提供というものが大事だと、皆様からご賛同いただいているところでございますので、来年度の会議においては、居住支援法人さんにもご参加いただければなど、事務局では今、考えております。

4番目でございます。他市でも事例があるように、自治体で出所者や保護観察中の方を直接採用される仕組みができないか。そういった仕組みがあると非常に助かる。そういった議論は市の担当課と行ったか。というご質問がありました。

これに対しまして市の回答でございますが、他市のそういった事例は承知しており、今回の計画におきましては、お仕事の紹介等について既存事業にとどまった記載内容になっておりますが、実は、内部的に私の方で総務部の担当課長と事前にいろいろな話し合いはさせていただいているところです。そういった取組も船橋市としてやっていければいいのかなと考えております。

続きまして5番目でございます。

第1回の策定委員会に会議において保護司会の会長から「保

「保護観察につながらない満期出所者」が計画で救われるようにと要望があったが、その部分が弱いと感じる。どう考えているのか。というご質問がありました。

市の回答といたしましては、満期出所の方への支援が課題であるという認識はもっていると、そこは課題としてネットワークでも協議していきたいというふうに回答はさせていただいております。

続きまして、8番目でございます。

市営住宅は優先的に入れるのか。そうじゃないとすると、計画に掲載した意義は。というようなご質問でございました。

市営住宅所管課に確認しましたところ、市営住宅というものの提供の仕方につきましては原則がございまして、船橋市への居住実績、居住期間もある一定程度必要なものでございます。ですので、現在のところは、市営住宅という住居、そういったカテゴリーがあるんだよというご紹介にはとどまっております。

ただし、我々も再犯防止の観点で、居住場所をつないでつないで、やがては市営住宅に入りたいんだよ、というご要望等にもつながっていったらという形で市営住宅の情報提供はすべきだということで、事業掲載はさせていただいております。

続きまして10番目。

事業例について、再犯防止への関連性や内容に応じて、掲載順を変えるなど工夫してほしい。

というご要望がございましたので、一部事業例の掲載順を変更してみたいと回答したものでございます。

資料4についてのご報告は以上でございます。

前回の会議でも申し上げましたけれども、まず計画を策定させていただいて、基本的なところは整えたかなと思うんですが、今後の出所者の方に対するいろいろな形での支援というのは、既存事業、あるいは対応できないものであれば、ネットワーク会議の中でいろいろご意見をいただきながら新規事業を生み出していければな、と考えているところでございます。

ご報告は以上でございます。

東本委員長

ありがとうございました。皆様から何かご確認とか、ご質問とかございますか。

居住とか、市営住宅につないでいく中で、今ある緊急保護とか、そういったところの枠を広げていく動きとか、あるのかなと私も推測しているのですが、例えば、すぐに保護観察で施設に入れなくて、すぐに生活保護費が入るっていうところにはな

齋藤課長	<p>らない方もいる中で、居住を確保するために一時的な資金を助成できたり、確保されたりできると、市としてはお考えとかそういう動きってというのはあるのでしょうか。</p> <p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>一時的な生活資金を貸付というような部分の制度というのは、社会福祉協議会の中にもございます。</p> <p>また、今、いわゆる就労意思がある方に対して、一時生活支援事業というものがございます。この部分につきましては、現行の事業対象からすると、ジャストミートではないんですが、これは、担当の地域福祉課ともいろいろな相談させていただく中で、利用できるものなら利用させていただいて、その間に生活保護につなげるとか、ちょっとした期間は稼げるような形で、2週間、3週間とかですね、そういった短期間でも活用ができるかとか、そういうところを狙っていければ、直ちにどこか定住とかというようなことではなく、そういう方策もできるのかなと、今のところ考えております。</p>
東本委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>おそらく他の施設の中もそうですけれども、名前としては就労支援とかってという言葉のほうが、面接でも言っているんですけども、生活支援とか、居住支援みたいなことを、施設内で考えていただかないと、就労を探すのにも住まいがないとだし、住まいの中で連絡先がないと、というところを考えると、市の中で居住とか、とりあえず拠点を作っていただいて、その中で時間を稼いでいきながら、その中で落ち着くってということが、緩やかに市として見守っていくっていうスタンスで計画を進めていくっていう理解でいいですか。</p>
齋藤課長	<p>おっしゃるとおりです。</p>
東本委員長	<p>あと、市営住宅に関してもおそらく、私もですけど、あまり正しく理解されていないというか、居住実績というのは、逮捕前とか入所前に居住実績があっても、居住実績として認められるというカウントなんでしょうか。</p>
齋藤課長	<p>そこは未確認です。</p>
東本委員長	<p>その辺のことを、私達も未確認な中で、誤った情報で、取れると思ったのに、抽選に申込みると思ったのにそうじゃなかつ</p>

	<p>たみたいなことは、意外と精神的にもダメージがある。</p> <p>我々も、「市営住宅ならいけるかもよ。」というのを、たぶん私も2、3回口にしたことがあると思うので、そうした時に、情報共有としてフローチャートがまさにそうだと思いますけれども、こういった方には優先的に市営住宅の申込みっていうのも方法の一つとして、出していただきたいと思います。</p> <p>この辺は注意っていう、居住実績を確認した上じゃないと、申込んでみたら、実は、居住実績がなくてダメだったとかってなると、トラブルのもとなので、どの辺の居住実績なのか。</p> <p>すごくいいと思うんです、施設とか、いろんな生活の住居を拠点としておいて、次に募集があった時に、自分の自立を踏まえた時に、市営住宅に申込みっていう自立の選択が出てくるのは、ご説明としてすごくよかったなと思っています。その辺、詳しくなっていけば嬉しいかなと思いました。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>かしこまりました。</p>
<p>小出委員</p>	<p>今のに関連して、社会福祉協議会です。</p> <p>私共は、居住支援の方に携わらせていただきまして、昨年度出所された方がいらして、居住先がないということで相談に来られた方がいます。</p> <p>たまたまその方は、船橋市内に居住先が見つかって、仕事も見つけることもできたんですけども、その後、居住先から出ていかなくはいけなくなったという経緯がありまして、やっぱり、うちとしましても、市営住宅なんかで優先的に枠があるとすごく助かるなっていうところが、本音です。</p> <p>課長の方からネットワークの話がでましたので、私としましても、その中で、優先的な話とか、掘り下げた話があればいいなと思っています。以上です。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市営住宅所管課と話した時に、優先的に確保するっていうのは、今、市の方で、現在用意させていただいてるのは、火事で焼け出された場合の方の一時避難として市営住宅を提供するっていう枠はあるんですが、後は、今回、緊急一時避難的に能登半島地震の方に対して5部屋用意するっていうことはやりましたが、これもあくまで緊急避難的なものなので、それ以外に優先的にうんぬんというのはやったことがない。と、というのが市営住宅の実態でございます。</p> <p>もちろん、市の健康福祉委員会の方でも優先的に部屋が確保</p>

東本委員長

できたら、というようなお言葉もありましたが、なかなかどうしても市営住宅っていう提供の観点においては、制度的にそれを設けるっていうことは、むずかしい。というのが今現在あります。

ただし、先程、私の方で少しだけ申し上げましたが、今、国の方で三省合同で協議しているところに、法務省が入ってきたということは、再犯防止の観点でなんとかできないかと、協議に移ってきたというというのが、いわゆる住宅確保要配慮者に対する考え方の変化だと我々は捉えております。

国の方もまだ中間とりまとめという段階でございますので、最終的にどうこうというものではございませんけれども、船橋市としましても、県内にはわずかしかない、居住支援協議会という協議会をもっておりますので、その中での検討という、別組織での検討も積極的にやってもらいたいということを私の方から、声かけしていきたいなと思っております。

ありがとうございます。

逆に、意見をいただいたことに返すような思いで言うと、こういった意見が出たことを受けて動いていただくのが市議さんではないかと、私としては思っておりますので、そういった意見を受けて、そうだなと我々も思ってるとか、ネットワークでもそういったお話が出て、例えば、どういったやり方があるかはまた検討だと思うんですけれども、抽選という方法は変わらないにしても少し枠が、他の枠でできるという可能性がある中では、地域が安全にとか、住まいがないことで、寒い中どうしているか分からないっていう人が多い方がいいのか、優先的にお家に入ってふらふらする人が少なくなった方がいいのか、っていうところを考えるのも市の安全というか、こういうことを考えると、議論にのせていただいて、市営住宅っていうところに限らずですけれども、なにか居住の優先枠というか、可能性として出てくるのは期待したいところかなと、個人的には思うところです。国全体で動かすのは、難しいかもしれませんが、市全体で動かしていくとか。

あとは、パブリック・コメントがほとんどなかったことを考えると、あまり数値目標が出てなかったとか、目標があいまいということも市議さんも意見でもありましたが、今、市民の人が生活において、身近に感じられるテーマっていうのが、大きな計画だと少ないからではないかなと思うんですけれども、例えば、大阪とか福岡とかは、子供を性犯罪から守る条例とかで、登録制を導入したりとか、具体例が上がっているよう

	<p>なことで、パブリック・コメントの意見もかなり多く出てきていて、経験とか、身近なイメージを政策とか計画のイメージが絵として湧くようなものが、パブリック・コメントとして出されることが多いので、もしかすると、居住に関して、市営住宅を優先的に、1 枠でも何々していいかみたいな、パブリック・コメントを募集したら、反対も含めてかもしれないですけど、くるんじゃないかなと、思ったりもするように、何か、ここで動きをやめるといふよりかは、ネットワークも含めてこの議題はずっと出していくほうがいいのかなど思っているんですけども、いかがでしょうか。私の勝手な思いなんですけど。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>とんでもございません。ありがとうございます。</p> <p>この策定委員会で申し上げましたとおり、船橋市として犯罪をした方に対する支援については、これが初めての計画策定になります。ということは、従前の事業をやっている船橋市においては今までこういった観点で、全くなかったということです。今回の策定が市の職員の意識高揚につながるんだということをお話ししましたが、これをきっかけに、次年度のネットワーク会議を考える上では、各課にもいろいろと考えてもらって、何かできないのかという観点で、いろいろ庁内で話をしてくれたら先生方がおっしゃるような部分が出てくるのかなというふうには、考えているところでございます。</p>
<p>東本委員長</p>	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p> <p>逆に、パブリック・コメントがなかったってところでいうとまさに課長がおっしゃったように、あまりまだ意識がない中で、大きな反対もないというところの中で、少し市民の意識を高めていくことをしていく、っていうスタートなのかなというふうに思います。</p> <p>今後のネットワークの中でこういった提案とか、具体的なこととかを発信していけるのか、っていうところになっていくことなのかなと思います。</p> <p>意見がないはないで、いいことだと思いますし、ないはないなりの課題があると、あまり意識がまだそこに向いていないというところもありますので、ここにお集まりの方は意識が高いところですけども、そうでもない方も多い中で、いろんな見方をしていくところは大切なのかなと思います。</p> <p>よくないですけど、先程言った、災害とか火事とかそういったことがあったり、イメージが湧くと、なんとなく制度とか受けられる支援とかを調べたりとか、自分たちでも調べておこう</p>

<p>齋藤課長</p>	<p>という意識になるかと思うんですけれども、まだなかなかそう いったところは、ないのかなと思います。それはそれだけ、船 橋が安全な地域なのかなと思って聞いておりました。</p> <p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p>また、最終案のところ、進めながらご質問いただくという ことでよろしいでしょうか。</p> <p>② 計画最終案について</p> <p>引き続き、議題②「計画最終案について」事務局からご説明 をお願いします。</p> <p>はい。「計画最終案について」でございます。お配りしており ます資料1の冊子と、資料2の概要版の2つになります。</p> <p>資料1の冊子の方ですが、素案の時よりだいぶ厚みが増して いるとは思いますが。開いていただきますと、現段階では「はじ めに」ということで、巻頭ページとして市長のあいさつを載せ させていただいております。</p> <p>めくっていただくと、目次ですね、目次に記しているところ は、ほぼ変わっておりません。</p> <p>その次をめくっていただきますと、左側に資料編、用語の解 説、ここまでは変わってないですが、その下に、皆様方からお 寄せいただきました原稿、寄稿とコラムという形で、それぞれ カテゴリーに該当するようなところに散らばらせていただいで おります。</p> <p>最終的にこの案をご提示させていただいておりますが、パブ リック・コメントの実施時点で皆様からお配りした内容から大 きな変更点はございませんが、先程、市議会の方の質疑応答の 中でもございました、一部市の事業例の掲載、これについては 順番を変えたところがございます。一例をあげますと、今回お 配りしています最終案の24ページをご覧ください。</p> <p>「学校等と連携した就学支援実施等の取組」というところの カテゴリーでございますが、素案の時は、学習支援事業がトッ プに載っていたのですが、いろいろなご意見をいただいた中で、 実際、教育委員会での取組ってというのが重要であるし、また、 学習支援事業につきましては、いわゆる負の連鎖を断ち切るっ ていう意味での、福祉的な学習支援を市では展開しているところ ですが、ご質問のあった方からすると、犯罪をしてしまうとい うのは貧困の家庭もありますが、わりと裕福な家庭の子でも、 親子関係やいろいろな環境において犯罪に手を染めてしまう場合 もあるんだよ、ということで、共通項として学習支援事業が</p>
-------------	---

<p>東本委員長</p>	<p>それに参加できないのであれば、もう少し新しい事業が欲しいな。というような意見がありましたので、この辺はご意見を使わせていただいて順番を入れ替えた、ということがございますけれども、掲載の内容については、とくに変更はございません。</p> <p>先程申しました、皆様からの寄稿文章につきましては、いろいろ散らばらせていただきました。一つ一つここではご紹介いたしません、適宜ご覧いただければと思っております。</p> <p>この場をお借りしてではございますが、改めて、ご寄稿いただきまして誠にありがとうございます。御礼申し上げます。</p> <p>先立って皆様方からご意見いただきまして、校正させていただいた修正箇所につきましては、反映をさせていただいた内容となっております。</p> <p>この最終案でございますけれども、改めて内容をご確認いただきまして、お気づきの修正事項等ございましたら、まだ修正は可能でございますので、恐れ入りますが、来週の金曜日2月9日までに事務局までご指摘いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>ここで併せて、今後の計画策定スケジュールの予定についてご報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議終了後、庁内にて最終的な確認作業を行った上、3月の中頃には、市長の確認決裁を経まして、計画の策定という運びになります。</p> <p>計画策定後は、市のホームページにおきましてその旨を公表いたします。</p> <p>正式な計画を策定した際には、皆様にもその旨書面にて、ご報告をさせていただく予定でございます。</p> <p>計画最終案については、事務局からは以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。ここまでで何かご質問等がありますでしょうか。</p> <p>ネットワークとかができたりすると、先程の課長のお話があったように、金銭的には裕福で学習支援事業に関わらない人たちで、でも親子関係が、ってなった時に、例えば、どこに行き着くか、本人が行き着くか分からないですけど、法務少年支援センターとか、鑑別所にあるような相談するところに行き着いたりとか、それこそBBS会につながって行って、メンタル的なところを誰かと支え合ったりというところが、分かるか分からないか、つながるかつながらないか、っていうところだと思いますので、やはり前回から議題になっている、フローチャートみたいなのところの中に、少し入っていくと、あれがないか</p>
--------------	--

らあれを作ればいいんじゃないかという、無駄な策定ではなくて、つなげられるところでの可能性を見ながらになっていく、っていうところにもなるのかなと、伺っていて思いました。

本当に些細なことだと思うんですけども、例えば、27ページの下のところ「※更生保護サポートセンターについて39ページに記載しています。」とかというふうに、本当に小さいことなんですけれども、会議等々でお話が出たように、何かあったら次そのページにもちょっと載ってますよっていうのをいれてくださいっていうのを、皆さん丁寧にやって下さったな、というのと、そんなの分かってるよ。かも知れませんが、39ページ見ていただいたりすると、学校生活とか集団生活に馴染めないなどで、青少年センターに相談してもらってもいいところなのかもしれないなど、少し一行入れていただくっていうのも、私の印象としては、他の市とかと差別化、区別されていて、本当に一言だと思うんですけども、素晴らしいなというふうに思っております。

この程度の社会の手の差し伸べみたいなのところとか、そういったやりとりが、変化を促すようなところってあると思いますので、一言入ってるみたいなのところは、気づく人だけは気づくんですが、大切な一文かなと感じております。

他にいかがでしょうか。

これを見て、それでも足りないところがあるとか、それでも分かりにくいところがあるっていうところをまた次年度やっていくっていうところだと思いますし、以前のご意見でもあったように、実は、市にはこんな分野で、こんなところがあるんだっていうことを、この1冊の冊子で、とりあえずは分かるっていうだけでも、もしかすると、持っているのと持っていないのでは、だいぶ違うかもしれないってところまでは、この期の目標かなと思っておりますが、いかがでしょうか。

齋藤課長

まさしくおっしゃるとおりだと思うんですね。

次年度の会議でございますけれども、予算的には、皆様に集まっていただく会議というものが、年に2回程度しか機会を設けることができないのかなと思います。

また、今回来ていただいている団体以外にも、再犯防止に関してご協力賜りたい団体は多々あるわけで、来年度は、今日現在の委員数の1.5倍くらいまでは、是非参加していただきたいなと考えておるところです。

また、何回かお話に出ております、東京都さんが作っているような相談のフローチャートみたいなものを、一つの成果物と

<p>東本委員長</p>	<p>して来年度作っていききたいなと思っております。</p> <p>会議体自体が2回と仮定するならば、事前作業じゃないですけども、委員になっていただける皆様にも、事前をお願いすることもあるのかなって思っているところです。</p> <p>例えば、相談にあった事例のご紹介とかですね。</p> <p>あと、いろいろ支援している中で、あそことつながりたかった。とか、そういう結びつけ先として、方法はあげていただくことが、そういったことを事前にご紹介申し上げて、持ち寄るとかですね。そういった、多少、会議をするための事前作業はお願いしながら、いい成果物を作っていけたらなど。</p> <p>そういうのが、国の法務省管轄の施設等にご案内できれば、有用に使っていただけるのかなと考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>その流れで、「③その他」来年のネットワークの設置予定等々にいかれた方がいいような、流れかなと思いましたので。</p> <p>③ その他</p> <p>それでは、事務局より「③その他」の説明とご提案いただければと思います。お願いします。</p>
<p>齋藤課長</p>	<p>はい。まず、事務的なことではございますが、本日の会議の会議録につきましては、後日、事務局にて作成の上、委員の皆様を確認頂戴した上で、ホームページ等で公開させていただきます。改めてお願いをさせていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。</p> <p>次に、当計画策定委員会でございますが、本日の会議をもって最後の会議となります。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところこの委員会において計画の策定にご協力賜り、大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。</p> <p>この再犯防止推進計画は、船橋市として初めて計画をさせていただくものでございまして、我々事務局といたしましても、手探りな点が多々あった中で、こうして計画の策定まで最終局面を残すところ、あと一步というところまで来られましたのも、皆様のご協力によるところが、非常に大きかったと感じております。</p> <p>また、来年度の取組、来年度以降の方に目を向けさせていただきますと、やはりこの計画に基づく、(仮称)船橋市再犯防止推進ネットワークを設置させていただきまして、関係団体の皆</p>

	<p>様との結びつき、あるいは、今日おいでいただいている団体、新たなメンバーとの結びつきも含めて、そういった結びつきを深めて、犯罪や非行をした方を船橋市において受け入れる体制を、確実、強固なものにしていきたいなど、相談先や、受け入れ先は船橋市にもございますよっていうところを、支援等を必要としている方に届けるということを考えております。</p> <p>策定委員会としては、本日で最後の会議ではございますけれども、来年度以降のネットワークに向けましても改めて皆様方に、ご協力をいただきたいと考えております。</p> <p>正式な依頼等につきましては、年度が変わってからのご連絡になるかと思えます。</p> <p>この後、委員の皆様から一言ずつ、ご意見頂戴いただければありがたいと思えます。以上です。</p>
東本委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>おっしゃれる範囲でいいんですけども、例えば、どういった機関をネットワークに追加しようという、予定や、絵を描けているのか、もしくは、委員の先生方からこういったところをネットワークに加える、あるいは加えなくても2回の会議の中で、お話を伺うってことは、いかがかどうかっていうところを、今のうちにご提案いただいたりとか、あとは、そういったところからの情報を得て、例えば、フローチャートとかの作成に役立てればいいんじゃないかという、ご助言があればというふうに思っておりますが。</p> <p>まず、どういった方々が増えるっていうのを市としてはイメージされているのか、それに対して、また委員の皆様のご意見を少しお伺いできればと思っておりますのが、いかがでしょうか。</p>
斎藤課長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>計画最終案の35ページを改めてご覧いただけますでしょうか。</p> <p>35ページ「第4章 計画の推進体制」として、中段にございます【(仮称)船橋市再犯防止推進ネットワークのイメージ】ということで、この図自体は素案にも掲載させていただいたものでございます。</p> <p>こちらの四角囲みの中に、関係する団体様のお名前をいれさせていただいている状況でございます。</p> <p>先程私申しましたけれども、委員の数を1.5倍まで増やして、というようなところでここに掲載されていない団体。例え</p>

<p>東本委員長</p>	<p>ば、本文の下から4行目の後段に、保健医療・福祉の関係団体とかですね、そういった表現がございます。直接的にまだアタックしたわけではないですけども、こういった再犯防止の観点で、関係性の深い現場の方々のご意見という観点では、例えば、ソーシャルワーカーの方々、あるいは精神保健福祉士の方、作業療法士の方とかですね、そういった現場で直接そういった方々と接する機会がある方の参加や、刑務所、いわゆる現場ですね。実際に出所される方が、それまで生活していた現場の方をお招きするとかですね、そういった観点で、次年度はメンバーを増やしていければなど。</p> <p>就職関係では、市の商工会議所とかですね、そういった経済的な団体の方々にも、ご参加いただくのもいいかなと、事務局レベルですけども、そういったことを考えているところがございます。以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。先生方から何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>ちょっと私も、お伺いした中では、ハローワークとかでも、就労支援の中でコーディネーターさんっていうのがいるんですけども、船橋市にいらっしゃるってわけでもなかったりするわけですね。なので、ハローワークも中央となるところがあって、船橋がそんなに大きいわけではない、というところになってくると、来ていただくみたいなことがあったりするのもありかなって、思ったり。</p> <p>私が見ている、お子さんとかでもそうなんですけれども、ハローワークでけっこう出ない、農業とかっていうものに興味があるけど、アクセスの仕方が分からない、っていうんですね。農業にコミットするためにどういう風にすればいいのか、例えば施設で土いじりとか、体験とかするんですけども、そこで「やる気が出てきました。」って言ってもアクセスのしようがなく、ハローワークでないってなってしまうと、そこでつながりがなくなってしまって、例えば、少なくともネットワークに参加した我々たちが、商工会議所の皆様のご意見で、どうするとつながるのかっていうことを、分かっているかどうか、っていうところ。</p> <p>また、それが施設の中の職員の方に声として、また冊子として、フローチャートみたいな形で届く。非常に重要な気がしているので、中に向けて、何を届けるために先生方に集まっていたか、中の本人たちと、中の職員たちにどう届くか、っていうところも、一つの目標かなというふうに思いますので、</p>
--------------	---

	<p>どんな理解をして、どんなことが届けばいいかっていうところも含めて、こういった方々の話を聞きたいとか、こういった方々に参加していただくのがいいんじゃないかっていうご意見があれば、すごくありがたいんですけども。</p> <p>ソーシャルワーカーさんとかは、協議会とかにお声掛けするっていう感じですかね。それともどこか医療関係に勤めている方を呼ぶっていうか。</p> <p>はい、先程申しました医療に近い方々なんですけど、船橋市はありがたいことに、県単位のいわゆる職能団体、あるいは市でつくった職能団体が多い市でございます。</p> <p>例えば、ソーシャルワーカーであれば船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会という団体が出来上がっております。</p> <p>それと、精神保健福祉士につきましては、千葉県精神保健福祉士協会という団体がございます。</p> <p>もちろん千葉県作業療法士会という、例えば、認知症の作業療法という分野では、作業療法の力っていうのはかなり重要でございますので、そういうことをやっている団体でございますので、そういったところにご提案申し上げて、委員を選出していただく。</p> <p>例えば、船橋市内にご勤務している専門職を派遣していただくとか、そういった感じになろうかなと思っています。</p>
東本委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>職安はどうですかね、誰がご参加してくれる可能性がありますか。</p> <p>観察所から出た人とかっていうと、いいコーディネーターさんとかにあたると、うまくいってるっていう方もけっこう私は聞くんですけど、なので、先程言った、中からできることと、出た時にどういう人と出会えるかっていうところを考えると、コーディネーターさんとかと出会えるっていうのが、就労意欲がある人に関しては、かなり良いのかなと思っています、長く受刑とかがあつたりすると、過去にやっていた仕事の経験があるから、それがいいっていうだけで職を選んだりするので、そうではなくて、仕事はかなり進歩していて、手先でやれたことが今やパソコンになっていたりとかするので、そういったことを考えると、出てみたら、仕事が思いのほか自分には合わなくて、何回か辞めて勤めて、辞めて勤めてっていうのを、誰がフォローできるかなっていうところの窓口ってなるとやっぱり、職安、ハローワークのコーディネーターさんなのかな、なんて思った</p>

<p>古市委員</p>	<p>りするところもあって、そういったところが市として何か強化できればいいのかなと、個人的には思っているんですが。</p> <p>船橋市の方に来ていただくって感じになるんですかね。</p> <p>ハローワークふなばしの古市と申します。</p> <p>そうですね。先程、先生もおっしゃられていた、コーディネーターの配置されている箇所は、残念ながら船橋ではないってことで、どうしても、施設が設置されているところ。県内ですと、具体的に言いますと、千葉市の方のハローワークがそこに該当するので、そこに配置されているコーディネーターは、施設内から、服役しているときから、就労支援しているっていう形になるんですね。</p> <p>それ以外のハローワークにつきましては、満期出所の方で、なおかつ、就労、就職することができなかった。という方が、大体対象になってくるんですけれども、実態としまして、ハローワークの方までたどり着く例ってそんなにないんです。</p> <p>その施設の中で、ハローワークは支援してるんだよって知っている方は、訪ねてくるんですけれども、まったくそういった経験とかがない方につきましては、船橋市に引っ越されてきたとしても、なかなかそこにたどり着かない。というのが現状です。</p>
<p>東本委員長</p>	<p>ありがとうございます。きっと、そういうことも共有しないといけないと思います。</p> <p>中の職員とかは、何かあればハローワークに行くだろうというふうには思っているけれども、たどり着いていないっていう現状がある中では、もしかすると、届けることになったらそういった声もあるんだよっていう、中の施設、職員にも届かないと、なかなか難しいのかなって。</p> <p>確かに、私の周りの人も、自分で今探してっていうところまでいって、うまくいなくてっていうところもあると、自分で探すのもいいところもある、確かに、ささっと探せるんですけれども、でも、「ちょっとだめでした。」とかっていう顔を見て、ちょっと、もう、っていうのは全くなく、自分だけで気持ちが落ちていくっていうことが、自分で探すっていうことだと思うので、そのピピピってするだけじゃない機能も、ハローワークの職員の方が担ってくれているんですよってというのが、たぶんもっと、中の職員の人と、委員の先生方の関わりの中で、共有していただくってことを考えると、どんな声を届けていたきたいか、市としてこの策定に関して、こういったことを</p>

中に運んでいけばいいのかとか、っていうことを考えると、やっぱり課長もおっしゃるように、聞きたいっていうのもあるのかもしれないですけど、こちらの声を届けたいってことも含めて、施設の中で働いている方に来ていただくってことは、ネットワークとしては、すごく大切だと思いますし、できれば、課長のご提案のように、この冊子と、フローチャートがなるべく施設内の目に触れるところにある、ご本人たちは全部版は難しいかもしれないけれども、このフローチャートを見ている人たちが、受刑している方とか、入所している少年との面接にあたる、っていうようなところは、こうやってみなさんが集まっていたところの目標かなと、伺っていて思いました。

なので、フローチャートに期待するってということと、その印刷費を予算でとっていただいて、施設にせめて1部、2部、配布されていく、必要があればそれが印刷されていて、本人たちの手元に届いて、出院、出所に向けていくってというのが、より進むといいのかなっていうふうには思っております。

たぶんポスターぐらいだと思うんですね、ハローワークとか、こういったことがはじまりました。とか、こういった支援をしています。ってというのが、施設内にポスターが貼ってあったりとかぐらいが、今、市とか自治体がやってる取組だと思いますので、そこが、強化できるといいのかなとなんていうふうに思っております。

他に、先生方、こんな方のお話を聞いてみたいとか、逆にこういう方に実情届けたいとかってありますでしょうか。言っておくと叶うかもしれないので。

戸松副委員長

保護司会の戸松でございます。

今、お話いただいた中で、ちょっと思ったことを話しますと、居住支援協議会でも、市営住宅が抽選で当たらないとか、手当ができないってことで、何回か落選、落選という方も中にはありました。

船橋市内においてもですね、空き家を提供していただける市民の方といいますか、そういうものを募集できないか、というところが一点、思い浮かんでいます。

それは、我々保護司以外の方と話した時に、我々もデータも持っているわけではありませんので、空き家住宅がどのくらいあるかっていうのは分かりません。ただ、保護観察所、それから他市の方なんかと話しますと、居住に関してすぐ入れない、なかなか見つからないってところがあるので、そういう提供場所があれば、ずっと住むわけではありませんので、決まる

まで2、3ヶ月、そこに住まわせていただくとか。

先程の火災等で焼け出された方の一時避難、もしくは、震災等での一時避難の枠はとってあるかもしれませんが、そういう中で、船橋もかなり空き家住宅が出てるのではないかと、思います。そういうところも少しあたっていただければと思います。

それから就労支援に関しましても、先日、農業委員会の方とちょっとお話ししたら、もし、犯罪をしてまだ仕事が見つからない。もしくは、一生やっていくような仕事を見つけるために、農業はどうなんですかね。と、お話をさせていただきました。

すぐ飽きてしまう方もいるかもしれませんが、やはり、30代後半、40代に入ってくると先を見越した中で、自分の手に職を持つというか分かりませんが、農業に関してですね、興味を持つ方が結構多い。最近若い方も農業に関して、かなり興味を持って、そういうイベントがあれば出かけるとか、もしくは、よくテレビとかで見てますと、船橋に移住してくるっていうのは、なかなか聞いたことありませんけれども、そういう方たちはやはり、農業と言いますか、お米作り、野菜作り等の方に、けっこうお話が出ているようなので、できたらそういうようなものも、農業に関して、やはり船橋はけっこうそういう地域がありますから、そういう中でできたら市の政策の中で、そういう支援ができる場所、北部の方にありますよね、農業センター。そういうものを活用した中で、受け入れ、ずっとではないと思います、何ヶ月間か研修期間を経て、できたら市内の、今農業で畑作等やってらっしゃるところ、休耕地とかになっているところも出てきていますからね、そういったところを使えるような形に、いい方向に持っていけるような、そんな情報ネットワークの中でご紹介いただくとか、形がとれないかなと、あちらについてもそういう中で募集かけられないかなと、そんなようなことがありましたので、一言だけ言わせていただきました。それについて皆さんからあれば、言っていただければと。

齋藤課長

ありがとうございます。いわゆるその空き家、あるいは空き室、船橋の場合は、劣悪な環境にある、空き家。お化け屋敷になっちゃっているような空き家の対策っていうところの方が、主眼であって。良質な、空き家を転換しようという動きはまだないところではございます。

ただ、おっしゃっていただいているところでいうと、例えば、会社さんの社宅とか、アパートとか、一軒家でも他者に提供してもいい、というような部分が、例えば、名簿登録とか、そう

<p>東本委員長</p>	<p>いう制度ができるのであれば、そういう道もできてくるのかなというのが、単純な表面的な考えですけども、あります。</p> <p>農業のことにつきましては、我々としても、所管が経済部というところではございますけれども、そことの接触はまだしてありませんので、新たな再犯を防止するための支援策として、そういった手立てが内部的な協議はできるだろうと、思っております。ありがとうございます。</p>
<p>小出委員</p>	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> <p>リクエストってということで、私も昨年、居住支援の勉強会に出させていただきまして、ちょうどその時、千葉刑務所の職員の方がいらして下さってまして、生の声を聞くことができました。それを聞く中で、今もやっている事業を、切り口を変えると、もっとこういうサポートができるのかなって、気づきにもなりましたので、是非そういった現場の職員を入れていただくと、生の声を聞くことによりまして、皆さんの活動をちょっと角度変えると、さらにサポートができるような、そういう導きじゃないんですけども、そういった方にいけるんじゃないかなということで、リクエストということで発言させていただきました。</p>
<p>東本委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>誰が来るかにもよりますよね、人柄とかではなくて、どの立場の人とかが来てくださるか、上の方よりも、現場の方が来ていただくことの方がよかったり、その声が、彼らとやり取りをしてらっしゃる方が来てくださったりとか、それこそ、面接したりとか、面接やプログラムとかの中でどういった話題が出て、どういったことを本人たちは社会にイメージしながら出ていくのかということ、どういったアドバイスをしているのか、というところが分からないと、ニーズと提供してるものが合わないっていうところもあって。</p> <p>おそらく、思っているのと違うとか、思ったことではないことが起きるって、誰でもあることなんですけど、彼らはあまりにも情報を取り入れられない環境の中で長く過ごしているので、少なくとも窓口はそういった現場の先生たちだったりとかするので、おっしゃるように、我々もそれを知ったりとか、その先生方も知っていただいたらいいのかなと思います。</p> <p>誰が中に訪れていくと、彼らの支援になるのかっていうのも、まだあいまいなんですよ。居住の人が行くのがいいのか、ハ</p>

<p>清水委員</p>	<p>ローワークの人が行くのがいいのか、メンタルヘルス的な方が行くのがいいのか、役所がたまに出向いて行って何か相談ごとありますかっていう日があるのがいいのか、保険証持っているのか、どこに住民票があるのか、マイナンバーはどういう状態なのかということも、面接とかしてるとこういうことが出てくる話で、なので中にいる我々とか、中に帰る人たちが、何を努力するのかっていうことの意味交換も含めて、ネットワークに入っただけるといかなど、私も思いました。</p> <p>なかなかレアですよ、居住に関する事なのに、施設の現場の職員が来てくれるっていうのは、そこは大切なことだと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にはいかがでしょうか。こんな実情が知りたいとか、こんな資料があると次年度いいんじゃないかとか含めて。</p> <p>ふらっと船橋の清水です。資料ありがとうございました。</p> <p>33ページの県の寄稿なんですけども、このアドバイザーにさーくるの白田さんと私は委嘱を受けてやってるんですけど、だいたい県でお受けするケースの数は、だいたい40弱くらいですかね、40弱の件数が、関東近県のところから入ってくるんです。パーセンテージがどれくらいかっていうのは、私の資料を読むだけの印象だと、6割、7割の方が、何らかの障害の疑いがあったりする方が多くて、私は、障害者福祉の方で仕事をしてるので、うちに来る相談は何らかの障害がある方たち。その方たちの、①に書いてある、スクリーニングのところ、もっというよねという印象をすごくもっています。</p> <p>今回、今年度だけで、さーくるさんとうちで、10件くらいですか、対応してるんですけど、それ以外のところからお話がくるんです。同じ刑務所の中から。</p> <p>ただ、このスクリーニングをされてるその中の、どういう視点なのかなっていう、要するに入る前の状況が、もしかしたらそんな疑いがあったりとかっていう、何らかの形で取れているのであれば、そこにひっかけるのもありならば、県以外のところでは、精神保健福祉センター、女性センターとかいるんですけども、そういう話は何度か社会福祉士さんとお話をしたりとかするので、要するにここに引っかからなければ、市議会の方の質問の5番で、会長からお話があった、保護観察につながらない満期出所者。その方たちって引っかからない。</p> <p>最初の入口の支援が、私らは、出口支援が主で、不起訴の方からお話が来れば、それはそれで行くんですけど、なんか計画としてすごく配慮されて書かれてるんですけど、その部分、</p>
-------------	--

<p>東本委員長</p>	<p>どこがこれは担っているのか、船橋市だけがこれをするんじゃないでしょうけど、県の事業受けながらも、やりながら、なんでこの人ひっかからなかったんだらうっていうか、取りこぼしが、あえてその現場から出ていたのに、その現場から出て、刑務所職員の中で関わってる人たちの中で、もしかしたらあれって思う方がいたりするんじゃないのかなというのは、話が色々飛んでしまうんですけれど。</p> <p>何が言いたいかというと、そういうところの意見をどうやったら聞けるんだらう、どういう基準なんだらう、基準があるにはあるんでしょうけど、ちょっと不思議な感覚。来れば受けますが、そうじゃない人たちの支援をすり抜けてしまうケースについて、その課題はちょっと探りようのない課題で、すごく疑問がいつも残ります。</p> <p>すみません、ちょっと自分の疑問をお話させていただきました。</p> <p>ありがとうございます。あの、同感です。って言ったら変ですけど。</p> <p>施設の中で、むしろ施設の中だから適応してしまっている、つまり決まりきったようなルーティンだとできるから、社会に出た時にはできないとか、っていうようなところがあって、そのカモフラージュされてしまっているようなところの中で、実際出ると、そのことがやはり前に入った時と同じような状態で何もケアされないまま、露呈していくっていうようなところもあるのかもしれないし、入口でのサポートも、意外と社会で働けてたりするような、エピソードが特異的なものがない限り、なかなか入口でもひっかからないこともあり、そのことをもう一回疑うっていう余地がないと、中間でもやっぱりひっかからないときがあって、最後の最後になってバタバタっとなって、どっかにつなぐみたいなことも確かにあるのかなと思いますし。</p> <p>難しいのは、この地域でネットワークを組んでっていうのはなかなか難しいかもしれませんが、これは私が委員長にさせていただいた中でも課題でもあるかと思うんですけれども、たぶん中の意識の中で、聞かないのか、聞けないのかっていうようなところがあると思うんです。指示を聞く能力が今少し調子が悪い方や、衰えているのか、もともとすごく難しいのかっていうのと、一貫して聞かないのか、よくないですけど、だからお前たち。みたいなことに、なってないかみたいなところって、やっぱり社会の目というか、こういった委員の皆様目とか、</p>
--------------	---

そういった意見の中を、逆にまた届けていくことによって、そういったことが実際に船橋でも起こっている、なので施設の中で、適切なスクリーニングとか、スクリーニングっていうこと自身もどうかと、もう一度しっかりと、アセスメントしていただくみたいな視点でない。

つまり、道具みたいなものがあるかできないか、っていう2択でなっていくと、たぶん社会の適応ってそういうことではないので、もう少し施設内の、ケアの強化っていうところも含めての、再犯防止推進かなって思いますので、私も努力したいと思います。

というところと、声を届けるっていうのも、ネットワークの力かなって思いますので、是非次年度からのネットワークの中で、こういったケースがあった時に、もう少し早期に関われば、もう少し選択肢もあったのに、というところを届けられるといいのかなというふうに思いました。

物理的な環境調整だけではなくって、もう少し、細かいアセスメントによって適切なルートがいくつか提案できたはずなのに、とりあえずここに出すしかなかったから、大変になってきたんだってところは、課長が言ったように、事例をあげていただきながら、中に届けていくっていうことも、委員としての役目になってくるのかなと、伺っていて思いました。私もすごく思うところでございます。

本当に、何年もほっといてアセスメントされてなくて、急に出所するとか、ある時期にわーっとなっていくので、ほんのちょっと手前で、面接が入ったりとか、外の目が入って会うことによって、あれちょっとみたいなのが、分かることもあるなって思うので、そういったことも届けましょうというのも、この会の目標かなと思って聞いておりました。ありがとうございます。

白田委員

さーくるの白田と申します。お願いします。

このメンバーでっていうところで、私も現場からですけど、先程、斎藤課長がおっしゃった、医療機関の人も入ってもらいたいなと思います。

さっき清水さんもお話していたんですけど、船橋市って意外とアディクション関係の、アルコールとかの専門機関が多いっていうこともあって、意外と犯罪とそういったアディクションって密接に絡んでいて、流れ流れて船橋に来ちゃうみたいな人もいるなっていう体感があって、なので、ソーシャルワーカーさんには入ってもらえるといいかなって私は思いました。

<p>東本委員長</p>	<p>あともう一つ、これはあくまで現場からなんですけれども、居住とも関係してくるんですが、自立準備ホームの方、もしかしたら、里見さんの方が、保護観察所の方がかもしれないんですけれども、やっぱり、住まいがなくて、更生緊急保護を使って一時的に住まい、自立準備ホームにお願いするってケースがすごく増えていて、最近もやっぱりお願いしたケースがあったんですけど、船橋でも。ちょっと脱走しちゃったりして、なかなか支援にのらないっていうのがあって、なかなか難しいなっていうのが実感としてあるので、そこがメンバーに加われるかっていうのは分からないんですけど、自立準備ホームの方は、もうちょっと連携をしていきたいなと、思いとしてあるので発言しました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私も、住まいにケアが、すごくケアじゃないんですけど、住まいに人の目があるっていうところで、自立準備ホームとかグループホームとかっていう方のお話を聞くっていう機会はあってもいいかなというふうに思います。</p> <p>誰が出向くと、突如の脱走は防げるかとか、誰かが入って防げるものでもないのかもしれないかもしれませんが、その施設の方だけじゃない目とか、関わりっていうのが増えるっていう可能性を、どこかが提供できるっていう可能性はないか、っていうところのお話は議論としてはすごく大切なことかなって思っております。</p> <p>自立準備ホームって、伏せているじゃないですか。どこにあるかが分からないという状況の中でも、きっと先生方の中でも、どこでそういうことになって、どうなっているんだろう。本当にいざ、もしつなぐとなるとところも分からないところもあるかと思しますので、公表はできないんですけれども、我々が理解したりだとか、参加メンバーは共有するってことはできると思いますので、何か、急にメンバーに加わると難しいかもしれませんが、お話を伺うとか、いうところをご検討いただくところかなと、という風に思ったりもしています。</p> <p>なかなか、更生保護施設に入れないっていう人が多くて、更生保護施設は空いてるけど、入れないっていうこともあったりするのと、罪種によって非常にそこが入りにくいっていうこともある中で、今自立準備ホームとか、あとは、精神の病院が関係してるグループホームにつなぐなんてところも、なんとか手繰り寄せながら皆さんやっていると思いますので、そういった実情っていうところを踏まえた上での職能団体とのお話とか連</p>
--------------	---

	<p>携っていうところはあるのかなと、伺っていて思いました。</p> <p>これだけでも、皆さん来年の会議が楽しくなるんじゃないかなと思ってますので、ご検討いただいたり、どういうところを呼んだらいいのかなとか、委員の先生方とご相談いただければ、っていうふうに思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>是非、ご検討ください。</p> <p>千葉保護観察所の里見でございます。</p> <p>今、白田さんの方で自立準備ホームのお話が出て、確かに今、千葉県唯一の、更生保護施設である、千葉県婦性会が建て替え工事の為に、今受け入れを停止していて、令和6年度も受け入れできないような状況。7年度くらいまでは、難しいんですね。</p> <p>なので、自立準備ホームはかなり、重要な受け皿として本当に保護観察所の方でもかなり頼りにしているところなんです。</p> <p>自立準備ホームは、基本的に保護観察所の方に登録の申請をしてもらって、こちらの方で調査をした上で、自立準備ホームとして、機能できるかどうかというところも審査して、登録しているので、確かに公表していないんですが、船橋市内にも何ヶ所か、登録を受けているところがあるので、是非、どういう形で活用できて、本当に保護観察中の人でも、住み込み就労とかで、一旦は住み込んだものの、そこでうまくいかなくなると、仕事も失うと、家も失うというところがあって、困るケースも多々発生してますので、そういったことも含めて、自立準備ホームの方に来ていただいて、実情とか、活用について話してもらうことはすごくいいことだと思いますので、私も同様に思っています。以上です。</p>
里見委員	
東本委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
石川委員	<p>船橋市立大穴中学校の校長の石川です。</p> <p>全3回ありがとうございました。とても勉強になる会でした。</p> <p>ここ最近ですね、教え子が来たり、またはメールで相談受けたりっていうようなところで。</p> <p>例えば、「建築業界で自分は今、棟梁やっているんだけど、人が足りないんだよね。仲間に先生から声かけてもらえない？」っていうような相談受けたり、家族で農家やってる教え子が、「家族経営だから、本当に人が足りなくて困っているんだ。」というようなことを、言ってるような子供もいて、他の連中に声かけたら、「あ、先生。「〇〇」とかっていうような、派遣の会</p>

社があつて、そこに連絡入れたら呼んでもらえるよ。」って、教えてもらったり、農業だったら農協にお願いしてそういう派遣みたいなシステムを作ってくれと農家の人も助かるんだけどなと思つていて、1月25日の千葉日報に、愛知県の運送会社で支援10年、再犯なし、仕事あれば再生可能という記事が載っていたんですね。

ということは、仕事をしっかり与えて、報酬をもらえれば再犯する必要がないっていう人が出てくるんだろうなと思ひながら、記事を読んでいたんですけれども、船橋もそうやって、人が足りないって言うようなところも、いくつかあるのかなと思つていて、職場教育というような、そういうプログラムを作ってあげて、できればそこで住み込みで働けるような、そういうような会社をたくさん育ててもらえるようなプログラムがあると、再犯もグッと下がっていくのかなというふうに思つていまして、ただ、ここの会議はそんな話ではないと思うんですけど。

自分がここに来てるのは、23ページの学校との連携のここを考えて喋れってことなんだろうなと思つて、僕はいつもなんか違うこと喋ってるんだなと思つて、いつも反省してるんですけれども、ただ、市として犯罪が減っていけばいいなって、住みやすい船橋市ってなんか素敵だなって、ふるさと船橋ってというのが、誇りに思えるようなそんな市になってほしいし、失敗したけど、船橋に帰って来たら、あたたかい人たちが助けてくれるって言うような、そういう市になってほしいので、自分たちも、市長が教育大綱出して、ふるさと船橋ってものをしっかりと教育しなさいって出ているんで、こういう人たちも、船橋が大好きで、船橋で立ち直るって言うような市になってほしくて、自分が求められていることとは、いつも違うことを言ってるんですけど、是非その人たちが受け入れられるプログラムとか、そういう企業に発信できるような体制を作ってもらえればなと思ひました。ここに参加して、そういう気持ちが強く出ました。

本当に一人でもちゃんと更生して、社会に貢献できる人になってほしいなと、こんなに多くの方が知恵絞ってやっているの、それが実ればいいなって思つてます。

本当にいい会に参加させていただきまして、どうもありがとうございました。以上です。

東本委員長

ありがとうございます。

公開されているデータの的なものではないですが、出所した人で、仕事をしている人、仕事をしたからといって、犯罪をする

って言う考えの傾向っていうのは全然下がってなくて、仕事しているか、していないかってことと、犯罪思考の尺度に相関がなくて、むしろ、心が改善されている人の方が、仕事も長続きする。つまり、叱られたりとか、腐ったりとか、チャンスがなくなると人って心が疲れていくんですけど、そういうことがない方が、生活が安定するってことを考えると、まさに今先生がおっしゃったように、仕事に就くんじじゃなくて、その中で教えてもらった経験とか、励まされた経験とかっていうのが、付加価値としてないと、仕事どうですかっていうだけでは、全然だめで、そこに自分が手をかけてもらったとかっていうのが、そこが裏切られることたくさんあるんですけど、そうだとしても、伝わったときに、なにか変わってくるっていうところがある。

数字の妙で、無職だと再犯するってなってるかもしれないですけど、それもそうなのかもしれないんですけど、確率としては高いんですけど、報道とか見ていただいたりすると、事件が発覚して辞めているって人もいるので、どの時点で無職かっていうカウントによっても、無職と再犯っていうものの相関っていうのが、不明確なところがありまして、逮捕されるまでの期間があつたりする人は、会社を辞めなければならなかったり、そのことで辞めていると、本当の原因っていうのは、無職である期間がどのくらい続くとなのかとか、そのときに、誰もサポートがなかったかとか、っていうことの方が無職っていう単体の単語よりも重要なことであって、そういったことを、制度とかプログラムとか何かサポートする、っていうネットワークがカバーしていけるかどうかってところが我々の集まっている意味かなと思ったりして聞いておりました。

分かりやすいスローガンで、何かしていこうって動くところもあるので、確かに就職と、再犯っていうのは非常にキャッチーで分かりやすいところであると思うんですけど、そこまでの道のりがどうだったのかって、っていうところっていうのは、丁寧に見ていかなければいけないし、そんな道のりを過ごしていた社会であつたり市であつたりするので、そこでどんな人が関わっていた可能性があるのかっていうのは、それこそ一市民の人たちが関わっているってことだと思いますので、そういった見方で、船橋市はあたたかく、いろんな人を、再犯する人もしない人もいろんな人を支えていけるようになるといいんじゃないかなというふうに思いました。

会議も、このあとある先生方もおりますので、もしここで改めて議論したいことがなければ、また皆様と次にという感じで

よろしいでしょうか。

閉会

本日の議題は全て終了しましたがけれども、またご質問とかご要望とかあったら、市の方にご連絡いただいたりとか、また先生方と次にお会いできるときに、あたためておいていただきつつ、というところかと思えます。

今年度3回でしたけれども、策定委員会を開催いたしました。コロナ禍で、お会いして会議をすることができなかつたら、こういった活発な議論になったかどうかという、どうかなっていうふうにも思えますので、一堂に会していただいて、顔を合わせながら会ができたことは非常にいい時期に、我々は委員に選んでいただいたかなと思っております。

私のような力不足な委員長で、先生方には多大なご尽力、お力添えいただいて、なんとか議事の円滑な進行できたのではないかなというふうに思いますし、それも私たちだけじゃなくて、数々の準備をしていただいた、市の皆様のおかげかなと思えます。

先程のお話にもあったように、こうしてください。はい。と言えないのは、やっぱり、丁寧な根回しがないと、聞いてないよというお話にもなると思えますし、進むはずだったことが、進まなくなってしまうっていう中で、参加いただいている市の皆様に、本当にいろいろ、動いていただいているのではないかなと思えます。私のところにも来ていただいたりだとか、丁寧にご説明していただいたりだとかを見ると、先生方とメールのやりとりもきつとされているんじゃないかなと思えます。

私の方はですね、先生方には先にコラムを出していただいたんですけれども、私がすごく遅延をしております、私のコラムを出させていただけこう思っているんですが、やはりですね、私たちが思っている以上にもしかすると、社会はあったかいかもしれないですけど、やっぱり加害をした彼らに、加害をしたのにみたいな、目っていうのがないわけではない。そういった複雑な思いというのは、やっぱり社会の中であるっていうことも我々も知らなければいけません、もしかすると、本人たちも、知らなければならないというところはあるかもしれません。

そういう事件をしている、していないではなくて、なかなか今生きづらいこととか難しかったり、子供たちでも、何をするにもこんなにお金がかかる世の中では、いろんなことが起きかねないことがあるのかなというふうに思えます。

私は、コラムにも書かせていただいたんですが、更生という更生を、生きるという字ではなくて正しいというふうに思って

いる社会の人も多いただろうなと思うことも多かったり、正すことではなくて、更に生きていくっていう生き方を、どれだけチャンスを提供できるのかっていうのは、それは加害をしたかしないかは別にして、私たちだって、子供たちだって、誰だって、人にしか与えられることしかいけなくて、少なくとも船橋市のこういった策定計画を受けたからには、それが奪われることないようにという、そういった機会が出所した人とか、出院した人に等しく提供されるように、その機会が奪われないように、そういったことを受け入れられるような、準備のある社会であるようにするための、スタートとして、こういった計画を発信するっていう、スタートラインに立ったばかりだと思いますので、ここから船橋市ならではの、もしかしたら出所した人、出院した人が、ぶち当たる壁っていうのはどういうものなのかっていうのを、またこの計画の中で、せつかく枠がある中でありますので、議論する土壌にのせたりだとか、ディスカッションしたり、予算を付けていくというような、ところのスタートにしていただけたらいいのかなと思います。

それには、先生方の地域の中で、過ごされている目っていうのが必要だと思いますので、今後も船橋市のために、ということを考えながら、またご協力いただければと思います。

私も先生方とこういった機会がないと、なかなかお会いすることがなくて、非常に勉強になりました。

これからも、どうか、ネットワークに参加されるかと思しますので、是非またよろしくお願いします。というところで、私からのご挨拶とさせていただきます。

では、本日の会議これで終了してよろしいでしょうか。

では皆様、3回にわたり、また、次年度ネットワークという形で進めさせていただこうと思います。

どうもありがとうございました。